

授業概要

複雑で就業困難な現在、新卒で一社だけでも内定を得るには「個人のニーズと、その人のオリジナリティ」が必須です。グローバル人材育成が社会全体の課題となる中で、多くの企業は、グローバルな柔軟な対応、ダイバーシティ・マネジメントできる「会社にとって人財になりうるひと」を採用したいとしている

この科目は学生自身が課題を発見し、学び、自己を振り返る体験がキャリア形成に役立つことを実証してきたことに基づいて設定している。単に採用試験に受かるコツの伝授に限定されない。学びの15週を自ら書き記してきた業績を蓄積し、振り返り記述をとおして自己の成長を「一覧で見える化」する「ラーニングポートフォリオ」を手書きする。

本科目の過去の履修者で複数内定を得た人たちが残したロールモデルにより、ラーニングポートフォリオが指し示す「しなくてはいけない努力」「内定を得るまでのプロセス戦略」をどう進めていくのかを個人的設定し、アクションプランを立てる支援科目とする。キャリアカウンセリングを含め個人の支援を目指す。

授業計画

第1回	就職活動モードに切り替えるオリエンテーション	
第2回	マイキャリアの短期目標、長期目標のためのスケジュール設定	
第3回	社会状況と課題解決	
第4回	自分が本当に目指す方向、企業選び基準—選社軸—	
第5回	なぜ業界・企業研究は必要なのか。新業界区分、消えゆく職種	
第6回	キャリアの選択肢を広げる情報収集	
第7回	優良企業情報、その理由—データを見る—	
第8回	優良企業情報 具体的企業を設定、情報の比較	
第9回	ナビ活用 具体的企業を設定、情報収集の勘所	
第10回	ナビ活用 具体的企業を設定、情報収集の勘所	
第11回	ナビに掲載されていない企業情報	
第12回	ナビに掲載されていない身近な地域周辺の情報収集	
第13回	就活で避けては通れない3つの関門、エントリー、GD、面接	
第14回	10年後に差がつく「仕事」とマイキャリアプラン	
第15回	ゴールを設定「何が自分にとっての成果であるか」	
第16回	入社試験模擬エントリーシート作成	

到達目標

- 履修の自己管理ができる。自己成長が見える化する。
- 自分の目標達成へ向けての学びの計画や工夫を見つけ出すことができる
- 内定取得というキャリアビジョンを目指すための、この瞬間、この時間の真剣な積み重ねが成果を左右することを認識できる。毎日の大学生活のアクションプランを見直すことができる。

履修上の注意

3年生で履修するのが望ましい。
パソコンを併用する。

予習復習

事前に指示を出す。仕上げ、検索など情報収集を行うこともある。

評価方法

毎回の期限内に提出されたもののみを評価する。

中間課題提出	20%	課題発表プレゼンテーション	20%
グループワークにおける貢献度	20%	ポートフォリオ記入シート	40%

テキスト

随時最新情報プリントを配布する。